

# 討 論

今定例会では、議案3件に対して4議員が討論を行いました。その概要は次のとおりです。

## 平成20年度一般会計補正予算(第7号)

**反対** 日本共産党 本田 哲議員  
市民のくらしを守る財源に生かすべき

平成20年度は、国民健康保険税の2年連続の値上げが行われ、昨年10月からは、アメリカ発の金融危機で世界が不況の嵐に飲み込まれ、くらしや雇用など市民の生活は、あらゆる面で深刻さが日に日に増しています。今回の補正は、財政調整基金に6億2453万円を積み立てするものとなっていますが、市民のくらしが大変なときには、多額なお金を積み立てるだけでなく、市民のくらしを守る財源として、市民へのくらしや要求実現に生かすべきだったと考えます。

## 平成20年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

**反対** 日本共産党 岡寄 郁子議員  
市民負担は限界。軽減に取り組むべき

平成20年度は2年連続で国民健康保険税の増税が行われ、市民の負担は限界に達しています。一方、市からの法定外負担分は9千万円減額し、19年度決算と比較すると7億2千万円も市負担を削減したことになりました。国保は、年所得3百万円以下の世帯が7割にも及び、滞納世帯は所得2百万円以下の階層に集中しています。国保が健康保険のセーフティネットとしての機能を果たすためには、払える水準の保険料であることが必要です。今後増大する景

## 平成21年度一般会計予算

**反対** 日本共産党 本田 哲議員  
市の財政力を市民が要求する事業の充実に

「100年に一度」と言われる経済危機を乗り越えるために、本市の財政力をくらし、福祉、市民要求、事業の充実に生かすことを強く求めるものです。  
① 財政調整基金の取り崩し額を増やせば、不況対策など市民のくらしを守る取り組みや子ども医療費助成の無料化、さらなる介護保険料の引き下げなど、さまざまな施策の充実に使われたと考えます。  
② 議会費の海外派遣旅費は、県内の状況を見ても、全議員が対象となっている自治体はありません。議長などの代表派遣で、友好・姉妹都市との交流を行っていくべきと

気悪化の影響による経済状況の悪化を考慮し、保険料の負担軽減に取り組むべきです。

## 平成21年度一般会計予算

**賛成** 平成会 秋元 良夫議員  
市民福祉の向上に配慮した適正な予算編成

③ 総務費の人権政策事業については、同和問題だけに偏った取り組みを続けずに、様々な観点から幅広く人権問題をしっかりととらえ取り組む事が重要と考えます。  
④ 市民税賦課費の「ASP地方税電子申告受付サービス導入業務」への委託費と収納事務費の「収納サブシステム改修業務」への委託料は、65歳以上の高齢者の市民税を年金から天引きするためのシステム改修委託料です。年金手引きは、国民的議論もなく全く同意が得られたものではないと条例改正にも反対をしているところと見えます。  
⑤ 民生費・児童福祉費の保育園については、待機児は新年度当初から147名にも上り、保育園不足は明らかです。市は、こども保育園に続き、さらなる公立保育園の廃止・民営化を計画していますが、保育需要にこたえ、安定した保育を市民に提供するためにも、公立保育園廃止路線は見直し、新たな保育園整備を行うよう強く求めます。

① 財政調整基金繰入金については、現在の市民要望に取り組みつつ、今後の新たな行政需要への対応等、中長期的に安定した市民サービスの提供を保障するための基金残高を維持する水準として、適切な予算額であると考えます。

② 議会費の海外派遣旅費は、国際交流を通じて市

政に反映させることも大事な仕事であり、議会を代表して派遣する経費を計上したものであります。

③ 総務費・人権政策事業は、同和問題を含め様々な人権問題の研修に参加し、差別が起きない社会を作っていくことが重要であり、そのためには、正しい知識の習得と理解を深める必要がある、これらの職員研修は人権教育・啓発の一環であることから、妥当なものと考えます。

④ 賦課徴収費のASP地方税電子申告受付サービス導入業務等の委託料は、地方税法の改正に基づき、個人住民税の公的年金受給者からの特別徴収制度が創設され、当然必要となる業務です。

⑤ 保育園の待機児童対策については、この6年間に450名の定員拡大が図られており、市民ニーズに最大限配慮されていると考えます。



## 平成21年度一般会計予算の主な事業

施策の柱	事業名	金額
安全・安心 ①これで学校施設の耐震化率は約88%に!	① 学校施設耐震補強事業	6億4760万円
	② 消防防災施設整備事業	2億1119万円
	③ 浸水対策事業	1億732万円
環境 ①マジック!ごみが花に	① リサイクル推進事業	1460万円
	② 環境空間整備事業	1億587万円
子育て ②小学校修了まで通院の医療費を軽減	① 戸田駅前さくら草保育園運営事業	1億3134万円
	② こども医療費支給事業	4286万円
	③ 児童育成手当支給事業	540万円
	④ 学童保育室建替・拡充事業(笹目小学校)	4591万円
福祉・保健 ②23年度の開設に向けて整備します	① 地域包括支援センター増設事業	1800万円
	② 健康福祉の杜第2期整備事業	46億1343万円
	③ 通所リハビリ事業	516万円
くらし・産業・雇用 ①工場の新・増設に固定資産税相当額を補助	① 産業立地推進事業	2900万円
	② 介護職員緊急雇用対策事業	3600万円
教育・文化・スポーツ ①笹目東小に調理場を整備	① 学校給食施設整備事業	5億343万円
	② 図書館・郷土博物館開館25周年記念事業	468万円
	③ 文化・スポーツ施設整備事業	1億3107万円
都市基盤 ①安全な歩道・河川へ	① 歩道整備事業(市道4003号線)	9585万円
	② さくら川整備事業	1億5000万円
	③ 新曽土地区画整理事業特別会計事業	29億1796万円
行政運営 ①駅前で住民票を	① (仮称)戸田公園駅前行政センター整備事業	1億8149万円
	② 行政計画策定事業	1820万円

## 平成21年度予算のあらまし



▲フラワーセンターで生ゴミとお花を交換

※ 討論……提出された議案等の審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べることを討論と言います。